御池沼沢ニュースレター

令和８年 10 月 30 日　Vol.152

10 月 21 日(水)、東部指定地における環境保全活動を行いました。活動では、過去にハルリンドウが見られた部分(写真 1 [ ][ ] 、図 1 **ゾーン1**）の抑制種の除去を行いました。

斜面 [ ] より水路南側 [ ] の方が、土の湿り気があり、ハルリンドウが復活していく可能性としては、高いと感じました。今後、ハルリンドウ生息範囲の抑制種の除去をする際には、[ ]部分だけではなく、[ ]部分も行うことが大切であると感じました。

斜面・水路南側にはホソバリンドウとヤマラッキョウの生息を確認しました。

作業後、松の木付近に移動しホソバリンドウの様子を観察しました。例年より生息数が多いと感じました。

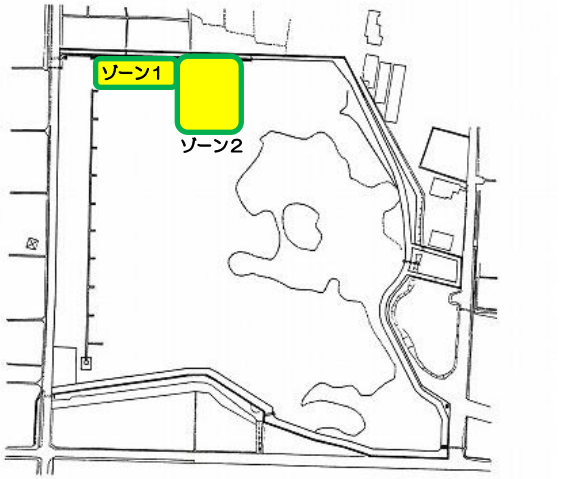


図１　東部指定地



写真１　抑制種除去の範囲



写真２　ホソバリンドウ



写真３　ヤマラッキョウ

保存活用計画には、ハンノキが生育することにより、地盤が高くなり、陸地化が進む懸念があるとしています。ハンノキは、しばらく放置していると直径 10cm 程度の太さに成長します。

ハンノキは、事前に伐採を済ませておきました。クリーンセンターで受け付けられる 1m 程度の長さに切っておいたものを、環境保全活動で枝払いし観察路への搬出を行いました。

ハンノキの除去を約 20 ㎡行うことができました(地図**ゾーン2**)。陸地化を防ぐため、ハンノキの伐採を今後も継続していきたいと考えています。



写真４　ハンノキ枝払い・観察路へ搬出

11 月の活動予定

11 月 11 日(水)　**西部指定地**
ヤチヤナギ周辺の除草・ハンノキの除去
午前９時 30 分から

11 月 28 日(土)　**東部指定地**
愛知教育大学 渡邊幹男先生とともに、ミクリガヤ付近の抑制種除去
播種後のミクリガヤ現況確認を行います。
午前９時から　※いつもより 30 分早く開始します。

四日市市ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ部　文化課　TEL059-354-8238　bunka@city.yokkaichi.mie.jp